

# ブルーカーボン等によるクレジットの創出・利活用に係る早期社会実装促進事業



【令和8年度予算（案） 100百万円（新規）】

【令和7年度補正予算額 400百万円】

2050年ネット・ゼロの実現に向けて、ブルーカーボン等の大規模な吸収源対策技術の早期社会実装を目指します。

## 1. 事業目的

2050年ネット・ゼロの実現に向けて、ブルーカーボン等の大規模な吸収源対策技術の早期社会実装が必要となっている。民間事業者を中心としてブルーカーボン等に係る技術の開発が進められており、当該技術を活用したクレジット創出やその円滑な流通のための基盤整備等を支援する。

## 2. 事業内容

### 大規模実証プロジェクトの立上げ支援

- 大規模実証プロジェクト実施に向けた概念実証
- 大規模実証プロジェクトの実施によるクレジットの創出

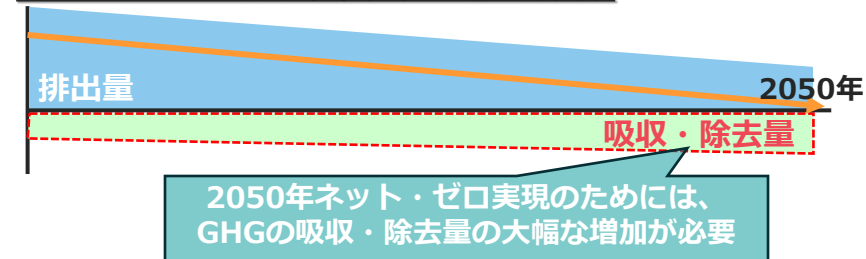
ブルーカーボン等の吸収源対策技術に係る大規模実証プロジェクトの実施を支援する。これにより、当該技術の早期の社会実装を図り、2050年ネット・ゼロの実現に貢献する。

## 3. 事業スキーム

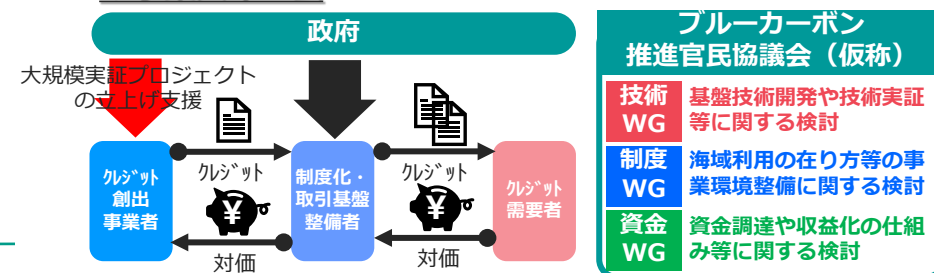
- 事業形態 直接補助事業（補助率 定額（1/3相当））
- 補助対象 民間事業者・団体
- 実施期間 令和7年度～令和10年度

## 4. 事業イメージ

### ◆政府目標：2050年ネット・ゼロの実現



### ◆事業スキーム



### ◆早期社会実装を目指すCDR技術例

